



事業名 スポーツによる国際交流を通じた地域の活性化

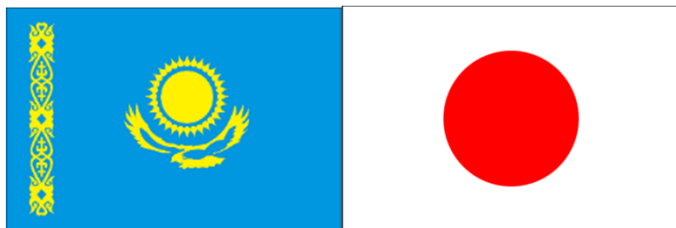


取組の概要

シルクロードを通じた交流により、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴い、橿原市は2017年にカザフスタンのホストタウンとして登録されました。これを機に、橿原市観光協会は橿原市スポーツコミッションの一員として、ホストタウン交流事業のみならず、スポーツ合宿の誘致を始めとしたスポーツツーリズムの推進に取り組んできました。

大阪・関西万博では、ホストタウンとしてカザフスタンパビリオンの運営に協力し、さらに、より多くの参加国からスポーツ合宿等を誘致することで、スポーツツーリズムや国際文化交流の発展を図り、地域の活性化に繋がりたいと考えています。

ホストタウン事業による スポーツツーリズムの萌芽

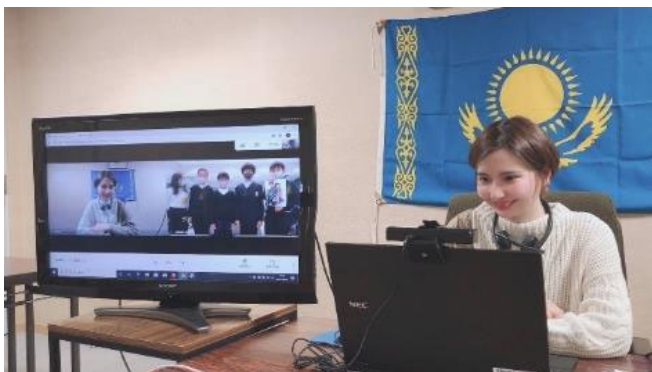


カザフスタンと橿原市はシルクロードで繋がっており、歴史的に深い縁があります。また、橿原市はカザフスタンの学生を受け入れ、日本文化体験教育旅行プログラムを実施しています。そのため、東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴い、2017年、橿原市はカザフスタンのホストタウンに登録されました。

これを契機として、橿原市観光協会は、橿原市、奈良県、橿原市スポーツ協会、橿原商工会議所、総合型地域スポーツクラブ等と「橿原市スポーツコミッション」を構成し、ホストタウン交流事業のほか、スポーツ合宿の誘致等に取り組み、地域の文化・スポーツ資源を活用したスポーツツーリズムを推進してきました。

スポーツ合宿の誘致については、2023年、YOUTH CONSORTIUM PROJECTの趣旨に賛同し、「日本と中国をつなぐ 中日少年スポーツ交流プロジェクト」を実施しました。

スポーツを通じた国際交流



橿原市観光協会は、「橿原市スポーツコミッション」の一員として、次のようなホストタウン交流事業を実施しました。

☺橿原市職員、JICA職員、元橿原市CIR(国際交流員)が、オンラインでカザフスタンを紹介

☺各種スポーツイベントにおけるホストタウンPRブースの出展

☺橿原市ホストタウンマスコットキャラクター「りぷたん」の作成

また、「中日少年スポーツ交流プロジェクト」については、中国上海の少年野球チームを誘致し、市内の県立橿原公苑陸上競技場で地域の少年野球チームと合同練習を実施した後、奈良県の郷土料理「柿の葉寿司」を賞味してもらいました。その後、市の文化資産である「歴史に憩う橿原市博物館」、「橿原神宮」を見学してもらいました。

万博を契機としたスポーツ ツーリズムの更なる発展



今後もホストタウン交流事業を継続し、長期的にカザフスタンと交流を進めていきます。

また、「中日少年スポーツ交流プロジェクト」については、次のような内容を加え、次回の実施を予定しています。

☺橿原市が株式会社カプコンと包括連携協定を締結している「ストリートファイター」シリーズに関する体験交流

☺プロ野球選手を輩出している県内の野球強豪校での野球交流・同校出身のプロ野球選手による野球指導

大阪・関西万博でカザフスタンパビリオンの運営に協力し、関係者と交流を図るとともに、万博を契機としてより広くスポーツ合宿等を誘致することで、橿原市のスポーツツーリズムを発展させ、国際交流による地域の活性化に繋がりたいと考えています。



360°EXPO拡張マップ

一般社団法人橿原市観光協会

スポーツによる国際交流を通じた地域の活性化



問い合わせ先:

担当者:一般社団法人橿原市観光協会 松井

URL:<https://kashihara-kanko.or.jp/>

Mail:info@kashihara-kanko.or.jp